希少種の保護に配慮した施設管理者と地域の取組

～民間共働による環境保全～

写真提供
（一社）長野市開発公社

長野県の希少種

地球上に存在する生物　約 3,000万種

国内に生息・生育する在来動植物種数
(維管束植物、脊椎動物、昆虫類(ﾁｮｳ類))
約 8,000種

長野県版レッドリスト（植物編、動物編）

長野県の絶滅の恐れのある野生動植物　約1,600種

県希少野生動植物保護条例

種の取扱に関する規制、生息地等の保護に関する規制、保護回復の促進　等

特に保護を図る必要があるもの
指定希少野生動植物　80種

特別指定希少野生動植物　20種

※指定希少野生動植物の内、特に緊急に保護を図る必要があるもの

保護回復事業計画

長野県希少野生動植物保護条例（H15.3）

指定希少野生動植物の保護回復の取組が
行政、保全団体等の幅広い主体により
推進することが期待される種について

・種の生息状況や課題
・保護のために取り組むべき事項

を取りまとめた指針

➤ **保護回復事業計画** を策定

これまでに15種の保護回復事業計画

保護活動に際し、課題や取り組むべき方向性を共有し

地域における主体的な保護活動を促進

保護回復事業計画

	計画策定種	策定年度
1	ヤシャイノデ	H18
2	イヌワシ	H18
3	タデスミレ	H19
4	オオルリシジミ	H19
5	ホテイアツモリ	H20
6	ライチョウ	H20
7	ミヤマシロチョウ	H21
8	ササユリ	H22
9	フサヒゲルリカミキリ	H23
10	ブッポウソウ	H24
11	アツモリソウ	H25
12	チャマダラセセリ	H26
13	シナイモツゴ	H27
14	ゴマシジミ	H28
15	クビワコウモリ	R1

絶滅危惧種「ゴマシジミ」

ゴマシジミ（本州中部亜種）

鱗翅目シジミチョウ科　草原性のチョウ

生　息　地：里山の草地
　　長野県内では長野市、松本市など
減少の要因：草地開発、圃場整備等による
　　草原的環境の減少

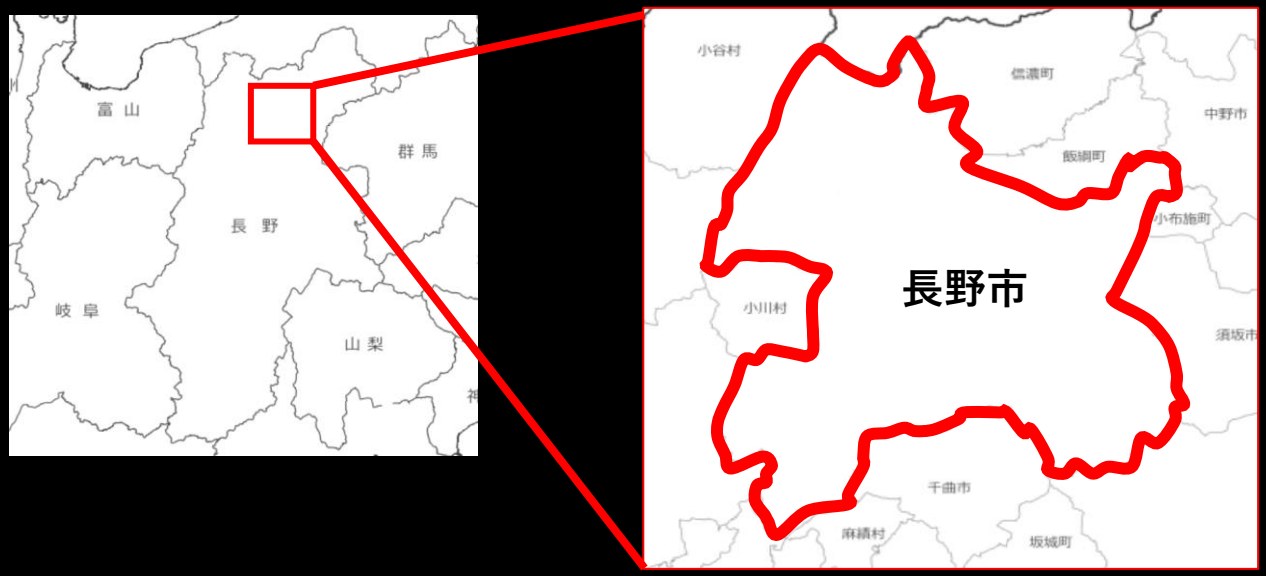
環境省版RL：絶滅危惧ⅠＡ類
長野県版RL：絶滅危惧ⅠＢ類

長野県希少野生動植物保護条例
　指定希少野生動植物 平成28年度指定
　ゴマシジミ保護回復事業計画 平成28年度策定

長野県長野市内における保護の取組

長野県長野市の概要

長野県の県庁所在地
人口：369,702人（9/1現在）　　標高：362m（市役所）
主な観光地：善光寺　戸隠神社　松代城下町　奥裾花自然園



長野県長野市内における保護の取組

生息地の概要

長野市霊園（管理者：（一社）長野市開発公社）

- **長野市街地から程近い丘陵地帯にある霊園**
- **公園法等の指定区域外**
- **園内の緑地にゴマシジミが生息**

保護の取組（長野県長野市内の事例）

民間による主体的な保護活動

- 県保護回復事業計画の策定を契機に地域全体での保護の機運が高まる
- ゴマシジミ保護活動が住民自治協議会まちづくり計画に位置づけ
- 住民自治組織と施設管理者の共働によるゴマシジミ保護活動の実施

地域住民主体の自治組織

浅川地区住民自治協議会

霊園の管理者

（一社）長野市開発公社

- 生息環境保全
- 密猟防止対策
- 生息状況モニタリング
- 環境教育
- 普及啓発

保護の取組例 紹介

（1）生息環境保全活動（ゴマシジミの食草であるワレモコウの保全）

・生息環境に配慮した施設管理
・地元小学生によるワレモコウの育苗

・草刈りは食草のワレモコウを刈らないように配慮
・小学生が育てたワレモコウを生息地へ移植

保護の取組例 紹介

（2）密猟者対策

・普及啓発看板の設置
・センサーカメラの設置
・住民自治協議会による園内生息地パトロール

保護の取組例 紹介

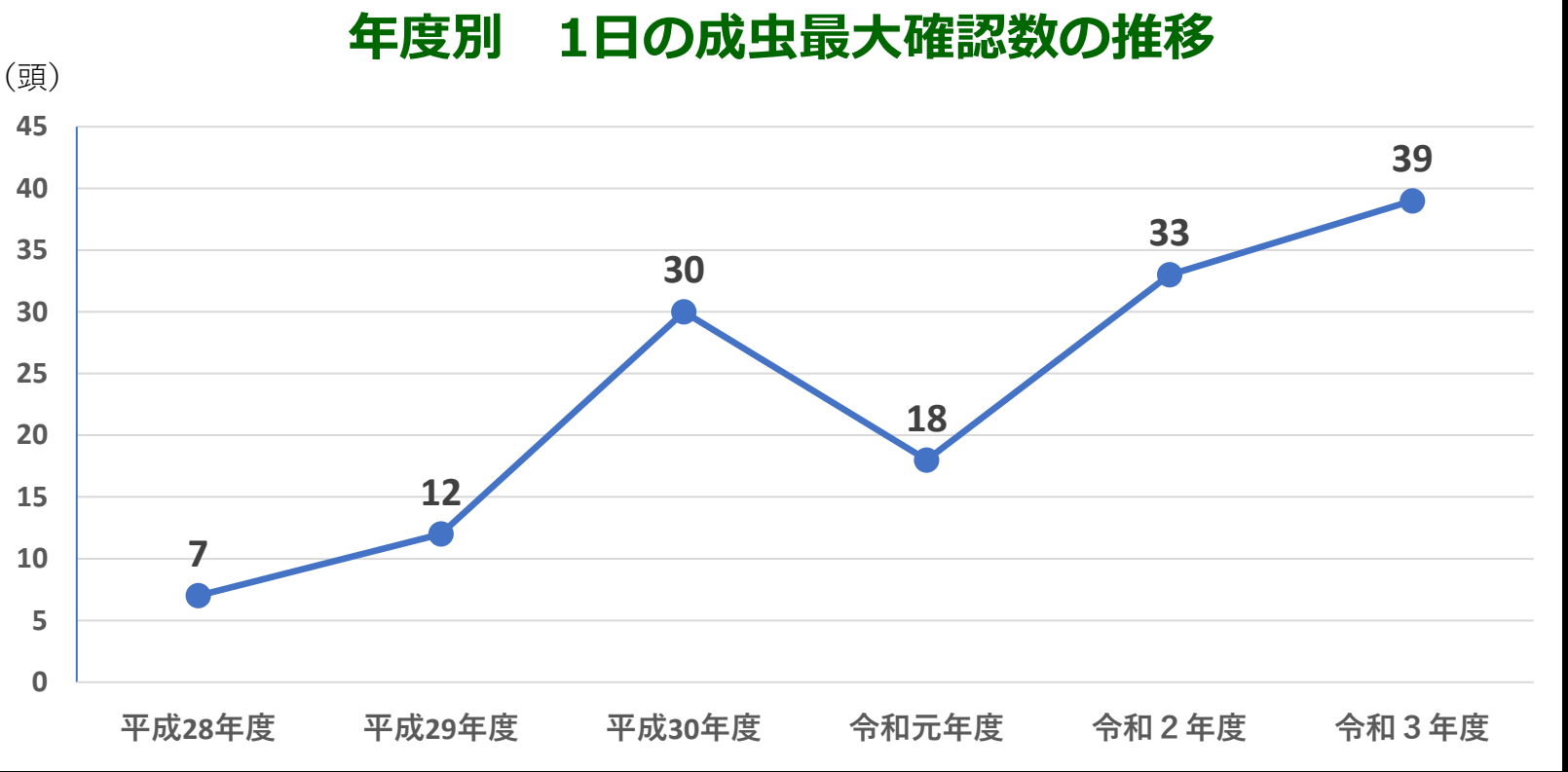
（3）小学生向けの環境教育

・生息地における地元小学生向けの学習会の開催
・啓発ツールを活用した普及啓発

保護活動の成果

生息状況モニタリング調査結果

- 発生時期（７月下旬～９月中旬）は、自治協議会と公社により成虫の発生数を調査
- 継続的な保護の取組により**個体数は増加傾向**



最後に

長野県長野市浅川地区のゴマシジミ

- 保護活動が行政やチョウの愛好家ではなく
  住民自らの地域ぐるみの活動に組み込まれている

- 地域住民の自治組織や施設管理者等の取組により
  順調に生息数を回復